私たちは「信州・生活者ネットワークながの」です。

「信州・生活者ネットワークながの」とは？

あなたはどんなまちに暮らしたいですか？

「安心して子どもを育てたい」
「住み慣れた地域で豊かに年齢を重ねたい」
「きれいな水や空気、安全な食べ物で健やかに過ごしたい」
「家庭も仕事も大切にしたい」

こんなあたりまえの願いを語り合っていると
「政治は暮らしに直結している」と気づきます。
自分の暮らしのことだから、「お任せ」や「お願い」するのではなく、
生活者である私たち自らが「知って、考えて、参加する」
新しい政治のかたちを実践しています。

「代理人」とは？… 代理人：西村ゆう子（長野市議会議員）

生活者ネットワークの議員は、みんなの代理で議会を担当する人だから「代理人」と呼んでいます。暮らしに関わる問題を市民と一緒に調査研究して、市民の提案を議会に届ける役割をしています。

生活者ネットワーク 3つのルール

1 議員はローテーション

生活者ネットワークの議員は原則2期8年で交代し、職業化、特権化しません。議員終了後は、市民活動などに経験を生かします。2011年に丸山かおりから西村ゆう子にローテーションしました。

左：代理人 西村ゆう子
右：前代理人 丸山かおり

2 → 生活者ネットワーク 議員報酬は市民の活動費

議員報酬は生活者ネットワークが管理し、問題解決のための調査研究、学習会、情報発信などに使います。

3 選挙はすべて手づくりで

選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

2015年6月発行 信州・生活者ネットワークながの 〒381-0034 長野市高田348 竹下ビル TEL/FAX：026-223-8900

長野市議会議員 西村ゆう子の

市政通信

2015年6月発行 信州・生活者ネットワークながの

長生きして
よかった！

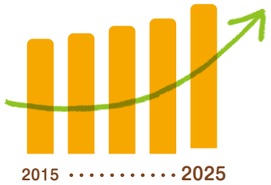
豊かな長寿社会をつくるために

長野市は今どのような課題を抱えているのでしょうか？

10年後、75歳以上の方が15,000人増えます

2015年 **55,908人** → 2025年 **71,032人**

高齢者世帯の２割が一人暮らし、
要支援・要介護認定者のいる世帯の2割が一人暮らしです



［長野市企画課の推計］

もう待ったなし！今から準備が必要です

■在宅介護・在宅医療の充実を

柏市（千葉県）では行政が事務局となって、医療・看護・介護の関係者の顔の見える関係作り・連携できるしくみ作りを進め「その人らしい在宅での暮らし」を支えるケアをめざしています。長野市でも行政がもっとリーダーシップを！

■制度の狭間にある人にも寄り添えるしくみを

誰でも本当に困っている時には自分で声をあげることができません。孤立、ひきこもりなどSOSを出せない人を支える専門職（コミュニティソーシャルワーカー）が必要です。

介護保険制度が変わりました

要支援１～２の方の訪問介護と通所介護（デイサービス）が、市の裁量に任されることになりました。これまでは全国どこに住んでいても同じサービスでしたが、これからは市町村によって差が出てきます。予算のない自治体ではサービスの縮小や利用料の値上げなども考えられます。

厳しいおさいふ事情

「次々と大きな施設を作れるのだから長野市はお金持ち。安心ね。」という声が聞かれますが、ここ数年に集中した大規模プロジェクト※の返済が本格化するのは平成30年度から。

大変なのはこれからです。

※大規模プロジェクト

第一庁舎／芸術館／斎場／ゴミ焼却施設と周辺／第四学校給食センター／スタジアム／長野駅前広場／長野駅東口周辺土地区画整理／小中学校耐震化

市が「見直し」を進めています

［公共交通］ »

地域住民による運営へ

市が赤字補填している市営バス・廃止代替バス・乗り合いタクシー、不採算で廃止が危惧されるバス路線について運行基準を設定し、基準に満たない路線は地域住民による運営に切り替える方針。

↳ 「採算がとれないことを地域住民がどう担うの？」

［公共施設］ »

「つくる」から「減らす」へ

公共施設の総床面積を20％縮減。施設の数を減らして、複合化、多機能化を進める方針。

↳ 「どうすれば使い勝手が良くなるか知っているのは市民。アイディアはどう反映するの？」

［福祉事業］ »

廃止・縮小へ

寝たきりの方への訪問理美容助成券の枚数削減、難病患者への見舞金廃止など。交通遺児等激励金の廃止を検討中。

↳ 「市民がいきいき生活するためには、むしろ充実すべきです。」

「少子高齢化」と聞いて皆さんはどう感じますか？

心配なこともたくさんありますが、必ずしもマイナスばかりではないはず。
たとえば、人生経験豊かなおじいちゃん、おばあちゃんの力をお借りできたら、
子育てはもっと楽しくなりそう！みんなで智恵を出し合って、
豊かな長寿社会をつくりましょう。なんだかワクワクしませんか。